



商 団 連

第353号

令和4年1月1日

発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区赤坂5-1-31

第6セイコービル4階(〒107-0052)

電話 03-6807-4335

編集発行人 原田 芳憲

年 頭 所 感

全国卸商業団地
協同組合連合会
会長 福井 弘



明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。さて、一昨年1月に我が国で初めての新型コロナウイルス感染者が報告されてから、2年が経過しようとしています。このコロナ禍の厳しい状況にあっても、絶え間ない努力をされている会員組合及び組合員の皆様に深く敬意を表するとともに、当連合会の事業推進につきまして、多大なるご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

この様な状況下、当連合会においては、一堂に会しての会議等の開催は控えさせていただきました。一方、オンラインによる会議やセミナーの機会を増やし、各種情報（政府施策情報・補助金・専門家派遣等事業・共済事業等）の提供を積極的に行っていました。

令和元年度から取扱いしている「卸商業団地機能向上支援事業」を始め、経済産業省から補助を受けた「専門家派遣等事業」については多くの会員に利用していただき、各団地の課題解決のためにお役に立てております。

また、当連合会では、組合運営に関する課題解決支援のため、「商団連会員サポートセンター」を設置しており、会員組合の皆様から様々なご相談が寄せられ、対応しております。

ここ2年のコロナ禍で経営環境は大きく変わっております。ワクチン接種の進展等により国内の感染者数は減少しているものの、海外では新たな変異株の発生により、感染拡大は続いています。また、世界的な半導体不足や原油を始めとする原材料価格の高騰等により、卸売業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。当連合会の会員組合の皆様は、地域において経済の中核的役割を果たしておりますが、更に強いリーダーシップを発揮することが求められています。

当連合会の大きな財産は、会員組合の皆様に加え、全国卸商業団地対策議員懇話会、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、商工中金、全国中小企業団体中央会及び住友生命等の関係機関との信頼と絆と認識しております。当連合会としましては、今年も各関係機関のご支援の下、会員組合の皆様のためにお役に立てるよう尽力してまいります。引き続き一層のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

本年が会員組合及び組合員の皆様にとりまして、コロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる年となりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感

中小企業庁
長官 角野 然生



令和4年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ると、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの中小企業・小規模事業者の皆様が厳しい経営状況に直面された一年だったのではないかと思います。こうした中でも、全国の事業者の皆様におかれましては、事業を継続し、雇用を守り、地域社会を支えていただいていることに、改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

新型コロナの影響が続く中、中小企業庁としても、皆様の事業継続を下支えするため、昨年末の補正予算で、2.8兆円の事業復活支援金を措置しました。加えて、政府系金融機関による実質無利子・無担保融資を年度末まで延長するなど、事業者の皆様への資金繰りに万全を期してまいります。

その上で、今年、成し遂げなければいけないこと、それは、ポストコロナの経済社会システムに向けた「転換」です。そして、日本の「転換」を進めるためのカギは、「成長」と「分配」の好循環の実現です。

世界に目を向けると、カーボンニュートラルに向けたグリーン投資の拡大や、情報の利活用・デジタル化の急激な進展、ドローンや自動運転などの将来技術の拡大など、コロナを一つのきっかけに、成長の実現に向けた大転換が進んでいます。この大きな流れに、日本だけが乗り遅れるわけにはいきません。

グリーンやデジタルなど新分野への展開や生産性向上につながる取組に果敢にチャレンジする中小企業の皆様を、事業再構築補助金、生産性革命推進事業などで支援いたします。

さらに、経営者の高齢化が進む中、多くの中小企業の皆様は、事業を次の世代に引き継いでいく事業承継や、M&Aによる事業拡大など、企業戦略として大きな「転換」が必要な場面に直面することもあるかと思っております。これからも、税制や補助金により、中小企業の皆様の事業承継、M&Aを後押ししてまいります。加えて、中小企業自身の「転換」を後押しするため、事業者に寄り添い、対話と傾聴を重ねることで、事業者の経営課題設定を助け、解決に導く「課題設定型伴走支援」を日本全国に展開していきます。

成長への投資を進めると同時に、適正な「分配」を実現することも重要です。サプライチェーンの強靱化・再構築が進む中、連携して製品・サービスを提供する大企業と中小企業は、共に同じ目標を目指す「イコールパートナー」です。大企業と中小企業が連携して高い付加価値を生み出し、それに見合った適切な利益を享受できるよう、パートナーシップ構築宣言の拡大など、取引適正化に向けた取組を官民連携して進めてまいります。

2022年は寅年です。新型コロナという未曾有の危機に直面する中、したたかに「虎視眈眈」とチャンスをつかがう中小企業の皆様の挑戦を後押しできるよう、中小企業庁は全力を尽くしていく決意です。

本年が、皆様にとって実りある、飛躍の年となるよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年 元旦

謹 賀 新 年

令和4年元旦

全国卸商業団地協同組合連合会
商 団 連 福 祉 共 済 会

会 長 福 井 弘
副会長 田 中 善 一 夏 目 潔 高 桑 幸 一
吉 木 学 小 正 芳 史
専務理事 伊 藤 三 郎
職 員 一 同

商団連会員の皆様（順不同）

- (協)札幌総合卸センター
- (協)帯広卸売センター
- (協)北見総合卸センター
- (協)旭川流通センター
- (協)石狩新港卸センター
- (協)青森総合卸センター
- (協)八戸総合卸センター
- 青森卸売業(協)
- (協)八戸流通センター
- (協)盛岡卸センター
- (協)仙台卸商センター
- (協)秋田卸センター
- (協)米沢総合卸売センター
- (協)山形流通団地
- (協)酒田流通センター
- 福島卸商団地(協)
- 南東北総合卸センター(協)
- (協)須賀川卸センター
- 会津若松卸商団地(協)
- (協)下館総合卸センター
- (協)土浦総合流通センター
- (協)栃木卸センター
- 宇都宮卸商業団地(協)
- 高崎卸商社街(協)
- (協)前橋問屋センター
- 所沢卸商業(協)
- (協)川越バンテアン
- (協)熊谷流通センター
- 埼玉県南卸売団地(協)
- (協)越谷卸センター
- 千葉総合卸商業団地(協)
- 船橋総合卸商業団地(協)
- 茂原卸商業団地(協)

- 木更津総合卸商業団地(協)
- 小田原卸商業団地(協)
- (協)横浜マーチャングデザインセンター
- (協)川崎卸センター
- (協)新潟卸センター
- 上田卸商業(協)
- (協)長野アークス
- 松本流通センター(協)
- (協)山梨県流通センター
- (協)浜松卸商センター
- (協)沼津卸商社センター
- (協)静岡流通センター
- (協)一宮繊維卸センター
- (協)高山卸商業センター
- (協)津卸商業センター
- (協)富山問屋センター
- (協)高岡問屋センター
- (協)金沢問屋センター
- (協)福井問屋センター
- 大阪金物団地(協)
- 大阪船場繊維卸商団地(協)
- 泉州卸商業団地(協)
- (協)新大阪セイシティー
- 大阪機械卸業団地(協)
- (協)大阪紙文具流通センター
- 大阪メルカート(協)
- 大阪南港鉄鋼流通(協)
- 奈良県総合卸商業団地(協)
- (協)豊岡卸センター
- 阪神総合卸商業団地(協)
- (協)神戸船用品センター
- 加古川卸団地(協)
- (協)鳥取卸センター

- (協)米子総合卸センター
- (協)米子中央食品卸売団地
- (協)松江卸センター
- (協)益田卸センター
- 浜田卸商業(協)
- (協)松江流通センター
- (協)岡山機工センター
- 岡山県総合流通センター卸(協)
- (協)ベイタウン尾道
- (協)福山卸センター
- (協)呉食料品卸センター
- (協)三次総合卸センター
- (協)広島総合卸センター
- 下関問屋センター(協)
- (協)柳井総合卸センター
- (協)徳島繊維卸団地
- 徳島木材卸商業団地(協)
- (協)徳島総合流通センター
- (協)松山卸商センター
- 高知卸商センター(協)
- (協)福岡卸センター
- 佐世保卸団地(協)
- (協)長崎卸センター
- (協)延岡卸商業センター
- 有田焼卸団地(協)
- (協)唐津総合卸センター
- 熊本流通団地(協)
- 鹿児島総合卸商業団地(協)
- 沖縄県卸商業団地(協)
- (準会員)
- (協)水沢総合卸センター
- (協)横浜総合卸センター
- 諏訪商業(協)

年 頭 所 感

独立行政法人
中小企業基盤整備機構
理事長 豊永 厚志



令和4年の新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応に終始した1年でした。経済活動の停滞や事業環境の激変により、多くの中小企業・小規模事業者が困難に直面しました。

相次ぐ自然災害、世界的な物価・資源価格の高騰に加え、少子高齢化に伴う国内市場の伸び悩み、後継者難や人手不足、デジタル化の遅れといった懸案もあり、中小企業・小規模事業者にとって、今後も難しい経営の舵取りが求められることが予想されます。

こうした経営環境が変化する中、デジタル、グリーン、レジリエンスといった新たな需要・ニーズを的確に捉え、新サービスの創出、事業の再構築などに柔軟に取り組んでいくことが求められています。

中小機構は、従来から、デジタル化やIT導入、海外展開といった経営課題別のハンズオン支援や、中小企業大学校での人材育成支援、スタートアップ企業の育成やインキュベーション施設の運営、国内外の販路開拓支援、事業承継・再生支援、小規模企業共済・倒産防止共済の制度運営などを支援してきました。

近年は、特に、新たな設備投資や成長分野への投資、業態転換等、生産性向上や事業の再構築に前向きに取り組む中小企業・小規模事業者に対して、中小企業生産性革命推進事業や事業再構築促進事業を通じた支援なども実施しています。

また、中小機構は昨年、「中小企業SDGs応援宣言」をいたしました。専用の相談窓口の設置、セミナーや研修、特設ページを通じた情報提供、カーボンニュートラルや脱炭素化をテーマとした商談会の開催などにも積極的に取り組んでおります。

今後も引き続き、多様な支援ニーズに応え、経営環境の変化への対応と事業の継続を図るための支援を実施してまいります。

全国卸商業団地協同組合連合会におかれましては、半世紀以上にわたり、高度化事業を活用して集団化事業を実施した全国の卸商業団地の発展のため、卸商業団地機能向上支援事業を活用しながら団地の魅力向上、機能維持に尽力されてきました。

これまでの一連の取組みに対し、改めて敬意を表するとともに、皆様の引き続きのご尽力を期待する次第です。

皆様方におかれましては、この1年が実り多い年になることを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感

商 工 中 金
代表取締役社長
関根 正裕



令和4年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国各地で緊急事態宣言などが断続的に発令される中、飲食や宿泊関連などの対面型サービス業を中心に深刻な影響を受けました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化しています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務の指定金融機関として、制度を的確に運用しつつ、影響を受けられた中小企業の皆さまの個別の実情に応じた懇切・丁寧な対応を行うとともに、資本性劣後ローンを活用した財務基盤の構築にも取り組んでまいりました。

低炭素経済への移行や社会のデジタル化等の大きな変革も見据えて、引き続き真にお客さま本位かつ長期的な視点で、中小企業及び中小企業組合の企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、産業構造や社会の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。日ごろからのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行いながら、お客さまの経営課題に対応してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、全国卸商業団地協同組合連合会様並びに会員組合、組合員の皆様のご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長として再任頂き、11月には本会創立65周年記念式典を開催することができました。これもひとえに会員皆様方の日頃のご支援やご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて実に苦しい1年でした。世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、対面サービス業を中心に深刻な影響を被りました。ワクチン接種の進展等により感染者数は減少したものの、依然予断を許さない状況が続いています。岸田新政権が昨年11月に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実効に期待を寄せているところです。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月25日に神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールにて開催した第73回中小企業団体全国大会では、萩生田経済産業大臣等多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約1,700名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

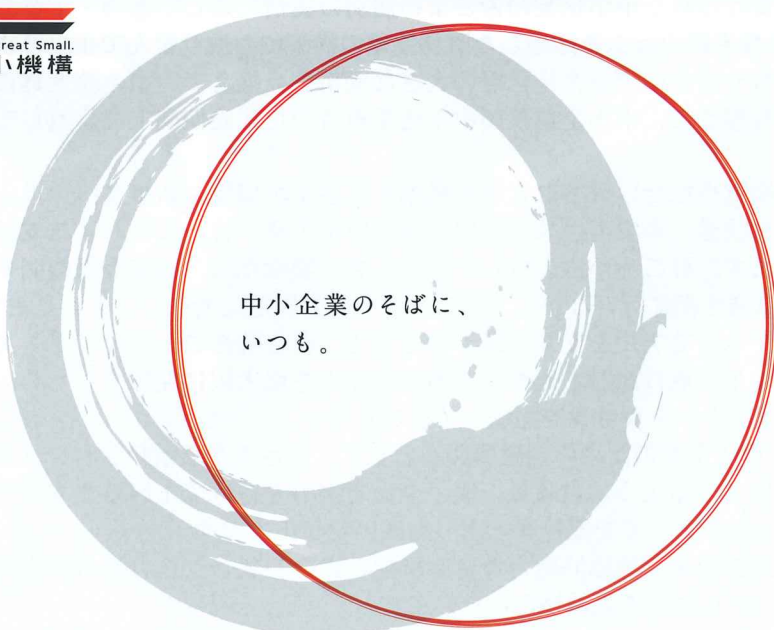
の実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

大会後の「感謝の夕べ」にご臨席賜りました岸田内閣総理大臣からは、ものづくり補助金の中央会の事務局としての活動と生産性向上の具体的な事例に言及され、謝意を頂き、中小・小規模事業者の発展を支援する中央会への期待が表明されました。この岸田内閣総理大臣の中小・小規模事業者への期待や支援に応えるためにも、組合組織が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、中小・小規模事業者が誰一人取り残されることのないよう全力で取り組んで参ります。

とりわけ、ポストコロナを見据えた新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化・グリーン化への起動、事業再構築・生産性向上、災害対策、事業承継、事業再生などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、一刻も早く安心して事業活動を行う環境が整いますとともにコロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦



中小企業のそばに、
いつも。

**会社の飛躍や承継のために、
中小企業に必要な
支援策があります。**

企業共済 / 事業承継 / 後継者育成 のご相談に。

独立行政法人中小企業基盤整備機構
東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
<https://www.smrj.go.jp/>

中小機構 検索



商団連からのお知らせ① ～従業員様の弔慰金制度の財源はどのように準備されていますか～

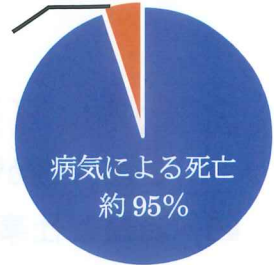
住友生命が2019年に実施した福利厚生アンケートでは全国1092社から回答があり、弔慰金制度の実施率は約96%でした。また、同アンケートの「弔慰金の財源手当て方法(複数回答可)」では、生命保険による手当との回答が約52%となりました。

商団連で実施している商団連グループ保険は生命保険です。災害保障特約が付いたシンプルな保障ですが、**病気死亡**、**災害死亡**のどちらでも**支払い対象**となり、もちろん**24時間保障**ですので弔慰金の財源手当てにはピッタリの制度です。

さらに、商団連独自の見舞金制度を設けており、多くのご加入者にご利用頂いております。ぜひ一度お見積りをお申しつけください。

＜日本人の主要死亡原因別割合＞

不慮の事故、自殺
その他の外因



出典：厚生労働省「2020年人口動態統計月報年計(概数)の概況」より住友生命にて加工作成

※令和2年度の保険金等支払い実績

死亡保険金8件、入院給付金6件、通院見舞金11件、
入院見舞金6件、結婚祝金27件、出産祝金28件、
長寿祝金27件

商団連グループ保険は、弔慰金制度の裏付けとなる保障内容となっており、全国規模のスケールメリットで、お手頃な掛金を実現しております。

商団連からのお知らせ② ～通常総会で「団体3大疾病保障保険制度の導入が決定」～

通常総会において、令和4年度に新たに「**3大疾病グループ保険(個人掛)**」を導入することを正式決定いたしました。成人の疾病による3大死亡事由である「**がん(悪性新生物)**」「**急性心筋梗塞**」「**脳卒中**」に対する保障を行うものです。大きな特徴は、これらの病気に罹患した場合に生きるための保険金が支払われるということです。

医療の進歩とともに治癒率は大きく改善し、生存率も高くなってきていますが、医療費の高騰もあり安心して治療を受けることができない方が多くいらっしゃるのも現実です。この保険は、治療と仕事を両立するうえで大きな障害となる経済的な問題を解決する一助になります。是非ご検討のほど宜しくお願いします。

詳しくは6ページ「3大疾病グループ保険(個人掛)」のご案内をご覧ください。

※制度開始までのスケジュール概要

令和3年6月25日 通常総会で導入が正式に決定
令和3年10月1日 募集期間開始
令和4年2月25日 募集期間終了(令和4年4月加入の場合)
令和4年4月1日 制度開始(保障開始)

お早めのお申込みをお願いいたします。

【商団連からのお願い】

- ・内容のご確認と加入検討を是非お願いします。
- ・住友生命の担当者が説明のため訪問します。
ご対応のほど宜しくお願いします。

住友生命からのご案内

住友生命では商団連ご加入の組合員様の福利厚生制度向上のために、さまざまな提案をさせていただいております。

・治療と仕事の両立をサポートする「3大疾病グループ保険(個人掛)(*1)」新規導入のご案内

新たに「がん(悪性新生物)」「急性心筋梗塞」「脳卒中」に備える「3大疾病グループ保険(個人掛)」の導入が決定しました。従業員様個人が掛金を負担してご加入いただく保険です。詳しくは6ページ「3大疾病グループ保険(個人掛)」のご案内をご覧ください。(*1)死亡保障および高度障害保障はありません。

・商団連グループ保険のご案内

(会社掛プラン) 従業員様の弔慰金制度の財源をお手頃な掛金で準備できます。ぜひお見積りをご依頼ください。
(ファミリープラン) 従業員様個人が掛金を負担するプランです。一般の個人保険と商団連グループ保険を組み合わせることで加入することにより「最新の保障」と「お手頃な掛金」という合理的な保険加入が実現できます。従業員様向け説明会やお知らせ活動を行っておりますので、各企業の従業員様にこのお手頃な商品をご案内する機会を設けていただければ幸いです。

※ご加入にあたっては、必ずパンフレットをご確認ください。

商団連グループ保険の簡単な説明動画を作りました。
特にファミリープランについてわかりやすく説明しています。
約5分と短い動画ですので、ぜひ一度ご覧ください。



あなたの未来を強くする



お申込み・お問い合わせは商団連事務局(担当 原田 吉澤:03-6807-4335)
または住友生命(担当 寺田:03-5550-9884 鬼木:03-5550-5853)までご連絡ください。

制度発足に向けての募集期間は令和4年2月25日までです。お早めにお手続きください

「3大疾病グループ保険（個人掛）」のご案内

各企業の継続的な発展、および、従業員（役員含む）の皆さまの福利厚生制度の一層の充実に向けて、治療と仕事の両立を力強くサポートする「3大疾病グループ保険（個人掛）」の制度を令和4年4月に導入することが決定しました。※ご加入にあたっては、必ずパンフレットをご確認ください。



3大疾病グループ保険（個人掛）

- ☑ 「がん（悪性新生物）、急性心筋梗塞、脳卒中」によりご加入者が所定の条件に該当された時、保険金をお支払いします。
- ☑ 治療と仕事の両立に寄り添い、力強くサポートする保険です。
- ☑ 3大疾病保障に特化した保障内容と、団体保険のスケールメリットにより、掛金がお手頃です。
- ☑ 医師の診査はなく、告知項目に該当がなければお申込みいただけます。
※死亡保障および高度障害保障はありません。

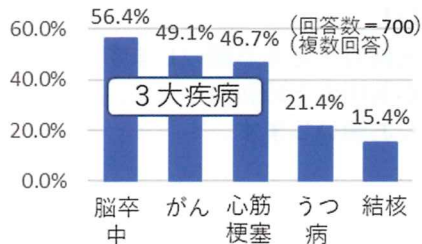
【がんの罹患リスク】 出典：厚生労働省「平成29年(2017)全国がん登録 罹患数・率 報告」

がんになった方は年間で約98万人（男性：約56万人 女性：約42万人） ※上皮内がんを除く

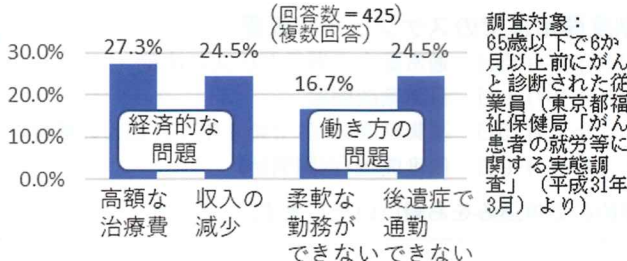
【3大疾病に罹患され、退院された方の平均入院日数】 出典：厚生労働省「平成29年(2017)患者調査の概況」

○悪性新生物<腫瘍>17.1日 ○心疾患（高血圧性のものを除く）19.3日 ○脳血管疾患 78.2日

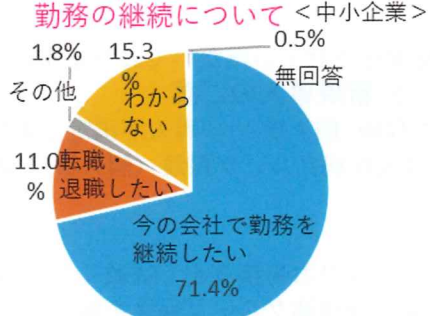
○離職・休職せざるを得ないと思う病気



○治療と仕事を両立する上で困難であったこと



○もし今後がんにかかった場合の、勤務の継続について <中小企業>



国立がん研究センターがん情報サービス「がんになっても安心して働ける職場づくりガイドブック」より住友生命作成



3大疾病グループ保険ご案内ムービーをWebで公開中！

<加入コースと掛金>

| 加入コースと掛金 | 本人/配偶者 | 本人/配偶者 | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | | 500万円 | 400万円 | 300万円 | 200万円 | 100万円 |
| 15~35歳 | 男性 | 1,570 | 1,256 | 942 | 628 | 314 |
| | 女性 | 1,655 | 1,324 | 993 | 662 | 331 |
| 36~40歳 | 男性 | 2,120 | 1,696 | 1,272 | 848 | 424 |
| | 女性 | 2,580 | 2,064 | 1,548 | 1,032 | 516 |
| 41~45歳 | 男性 | 2,270 | 1,816 | 1,362 | 908 | 454 |
| | 女性 | 3,030 | 2,424 | 1,818 | 1,212 | 606 |
| 46~50歳 | 男性 | 3,055 | 2,444 | 1,833 | 1,222 | 611 |
| | 女性 | 3,390 | 2,712 | 2,034 | 1,356 | 678 |
| 51~55歳 | 男性 | 4,155 | 3,324 | 2,493 | 1,662 | 831 |
| | 女性 | 3,985 | 3,188 | 2,391 | 1,594 | 797 |
| 56~60歳 | 男性 | 6,020 | 4,816 | 3,612 | 2,408 | 1,204 |
| | 女性 | 4,580 | 3,664 | 2,748 | 1,832 | 916 |
| 61~65歳 | 男性 | 8,590 | 6,872 | 5,154 | 3,436 | 1,718 |
| | 女性 | 5,735 | 4,588 | 3,441 | 2,294 | 1,147 |
| 66~70歳 | 男性 | 12,005 | 9,604 | 7,203 | 4,802 | 2,401 |
| | 女性 | 7,640 | 6,112 | 4,584 | 3,056 | 1,528 |
| 71歳 | 男性 | 14,550 | 11,640 | 8,730 | 5,820 | 2,910 |
| | 女性 | 8,965 | 7,172 | 5,379 | 3,586 | 1,793 |
| 72歳 | 男性 | 15,490 | 12,392 | 9,294 | 6,196 | 3,098 |
| | 女性 | 9,440 | 7,552 | 5,664 | 3,776 | 1,888 |
| 73歳 | 男性 | 16,480 | 13,184 | 9,888 | 6,592 | 3,296 |
| | 女性 | 9,940 | 7,952 | 5,964 | 3,976 | 1,988 |
| 74歳 | 男性 | 17,515 | 14,012 | 10,509 | 7,006 | 3,503 |
| | 女性 | 10,460 | 8,368 | 6,276 | 4,184 | 2,092 |
| 75歳 | 男性 | 18,605 | 14,884 | 11,163 | 7,442 | 3,721 |
| | 女性 | 11,000 | 8,800 | 6,600 | 4,400 | 2,200 |

*1 記載の年齢は保険年齢を使用しており、契約日(令和4年4月1日)現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数は6か月を超えるものは切り上げ、6か月以下は切り捨てます。

*2 左記掛金は概算です。実際の掛金は申し込み締切後に確定します。

お申込み・お問い合わせは、商団連担当（原田 吉澤：03-6807-4335）、または、住友生命担当（寺田：03-5550-9884、鬼木：03-5550-5853）へご連絡ください。

Webセミナー開催 ～コロナ禍で情報発信～

新型コロナウイルス感染症の影響から、一堂に会しての会議開催を控えたことから、昨年度下期同様にZoom(オンライン会議ツール)を活用したWebセミナーを開催した。Zoom活用にも慣れ、アンケートにおいてもほぼ全員から、「活用に問題無」との回答を得た。なお、Webセミナーの内容については、商団連HPからアクセスし、YouTubeで視聴可能となっている。

○Webセミナーの開催日と内容

(肩書は実施日時点)

| | |
|--------------------------|---|
| 第1回Webセミナー (開催日4月23日) | 「忘れる前にやってくる災害 平時から役立つ連携事業継続力強化計画」 講師:中小企業基盤整備機構 経営支援部 中小企業アドバイザー 千種 伸彰 氏 |
| 第2回Webセミナー (開催日6月7日) | 「連携事業継続力強化計画策定への経緯」 講師:協同組合大阪紙文具流通センター 専務理事 名和 秀記 氏 |
| 第3回Webセミナー (開催日6月28日) | 「事業再構築補助金(中小企業等事業再構築促進事業)の概要について」 講師:中小企業庁経営支援部 技術・経営革新課 課長 横田 純一 氏 「共済事業推進について」 講師:住友生命保険相互会社 公法人部 総合型基金営業室 室長 寺田 学 氏、渉外部長 鬼木 隆 氏 |
| 第4回Webセミナー (開催日7月20日) | 「～新たな時代に向けて～ 組合事業の探索と進化」 講師:商工中金 融資第二部 上席クレジットオフィサー 奥 直久 氏 「(1)団地再整備構想策定 及び(2)災害時対応まとめシート作成」 講師:協同組合横浜マーチャングライディングセンター 事務局長 平尾 洋詞 氏 |
| 第5回Webセミナー (開催日8月25日) | 「高度化事業について」 講師:中小企業基盤整備機構 高度化事業部 高度化事業企画課 課長 山本 国博 氏 「オーダーメイド研修」 講師:中小企業基盤整備機構 人材支援部 主任研究指導員 村田 夏来 氏 「卸商業団地機能向上支援事業 事例発表 泉州卸団地の再整備・再編に向けての検討(最終)」 講師:泉州卸商業団地協同組合 専務理事 事務局長 堀野 員功 氏 |
| 第6回Webセミナー (開催日9月28日) | 「女性活躍推進の進め方」 講師:女性活躍推進アドバイザー オフィスME社会保険労務士事務所 代表 高野 美代恵 氏 「卸商業団地機能向上支援事業 事例発表 佐世保卸団地の不動産活用と再整備」 講師:佐世保卸団地協同組合 専務理事 山崎 邦彦 氏 |

専門家派遣等事業の実施

令和3年度も前年度に引き続き、「専門家派遣等事業」を実施している。本事業は経済産業省より中小企業連携組織対策推進事業費補助金を受けて実施している。組合の諸課題を解決し、適正な事業活動ができる環境を整備する為、専門家等を派遣し、講習会等を開催する費用を補助するもの。是非、活用を検討されたい。現状予算上限に達しておらず、相談は可能となっている。

○専門家派遣等事業の実施状況 (令和3年12月31日時点)

| 組合名 | テーマ | 講師 |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 木更津総合卸商業団地(協) | コロナ禍における労務問題 | 社会保険労務士 |
| (協)長野アークス | BCPの作成①②③ | 環境防災総合政策研究機構 |
| (協)米沢総合卸売センター | ハラスメント防止対策 | 社会保険労務士 |
| (協)仙台卸商センター | インボイス 実務者向けセミナー | 税理士 |
| (協)鳥取卸センター | 法改正セミナー | 税理士 |
| 高知卸商センター(協)(予定) | SDGs 研修会 | 高知県カウンセラー協会 |

第3回商工総研セミナー(オンライン)のお知らせ

○セミナー内容

| | |
|--------|---|
| テーマ | 中小企業組合の新たな挑戦—中小企業組合の実態と今日的意義— |
| 日時 | 令和4年2月16日(水) 13:30~15:30 |
| 開催方法 | Zoomによるオンラインセミナー |
| 受講料・定員 | 受講料は無料、定員500名(申込順で、定員になり次第締切り) |
| 申し込み方法 | (URL) https://www.shokosoken.or.jp にアクセス |
| 問い合わせ先 | 商工総合研究所 TEL 03(6810)9364 |

講演①で商団連の会員組合の高崎卸商社街協同組合事務局長 田中政貴氏が講演されます。ご興味のある方は、是非お申込みください。

ブロック会議開催（2年ぶり）～リモートで実施

昨年10月から12月にかけて、7ブロックに分け、リモートでブロック会議を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度のブロック会議は中止となった。今年度も参集してのブロック会議は中止とし、代わりとして、リモートでのブロック会議を開催した。全ブロックで63会員組合、延178名の方が会議に参加した。

会議は主催者の挨拶、来賓紹介、来賓挨拶につづき、中小企業庁経営支援部商業課より、「経済対策・令和3年度の補正予算」について、資料に基づき説明が行われた。

その後各会員組合より現状・課題（コロナ禍対応、共同事業の実施状況、BCP対応、団地再整備等）についての発表、意見交換が行われた。

中小企業庁経営支援部商業課、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部、商工中金融第二部の多数の方が会議に参加し、意見交換に加わった。

続けて、商団連本部が、事業評価・周知事業、専門家派遣等事業の再募集、未加入団地加入促進、共済の案内、今後のスケジュール等について説明を行った。

○各ブロック会議の参加組合数・出席者数

注：参加者数に来賓・オブザーバー含

| エリア | 開催日 | 参加組合数 | 出席者数 |
|---------|---------------|-------|-------|
| 北海道ブロック | 令和3年10月27日(水) | 3組合 | 16名 |
| 東北ブロック | 令和3年11月26日(金) | 11組合 | 33名 |
| 関東ブロック | 令和3年11月11日(木) | 14組合 | 32名 |
| 中部ブロック | 令和3年10月25日(月) | 7組合 | 22名 |
| 近畿ブロック | 令和3年12月14日(火) | 10組合 | 20名 |
| 中四国ブロック | 令和3年11月8日(月) | 11組合 | 29名 |
| 九州ブロック | 令和3年12月7日(火) | 7組合 | 26名 |
| | | 63組合 | 延178名 |



Web会議参加は難しいものではありません。
商団連事務局でサポートします。
何なりとお声掛けください。

(中四国ブロック会議)



(九州ブロック会議)



**商工中金の
中小企業組合支援**

組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資まで、中小企業組合の活動を情報と金融で継続的にサポートします。

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

安心、確実、お得に増やす

定期預金 **マイハーベスト**



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-10-17
<https://www.shokochukin.co.jp/>



祝 会員組合及び組合員の皆様 誠におめでとうございます

組合周年行事の開催おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。
皆様方の今後益々のご隆盛をお祈り申し上げます。



協同組合 米沢総合卸売センター 団地開設50周年

令和3年10月29日(金)開設50周年記念式典がグランドホクヨウにおいて開催された。記念式典は当初令和2年度に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和3年度への延期を決定。また、直前に式典後の昼食会を中止し、感染対策を十分に講じたうえで式典のみの開催となった。

組合功労者表彰を受賞された方は次の皆様です(敬称略、順不同)。おめでとうございます。

| | |
|----------|--|
| 中小企業庁長官賞 | 内藤 次夫 (元理事長) 中村 恵一 (元理事長) 佐野 雅英 (前理事長、理事・顧問) |
| 中小機構理事長賞 | 前山 健二 (理事長) 横山 均 (理事) |
| 商団連会長賞 | 高橋 孝二 (理事) 横澤 敦 (監事) 尾形 直樹 (副理事長) |



協同組合 ベイタウン尾道 組合設立50周年

令和3年12月2日(木)創立50周年記念式典が組合会館において開催された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、感染対策を十分に講じたうえで式典のみの開催となった。参加者を限定しての対応となったが、各来賓からの祝辞にビデオメッセージを活用する等、様々な工夫を凝らし、盛会のうちに終了した。

組合功労者表彰を受賞された方は次の皆様です(敬称略、順不同)。おめでとうございます。

| | |
|----------|------------------------------|
| 中小企業庁長官賞 | 向井 禎介 (副理事長) |
| 中小機構理事長賞 | 阿形 淳一 (副理事長) 片岡 文彰 (常務理事) |



全国卸商業団地企業年金基金

2022年(令和4年)度収支予算のご報告

2022年度予算(2022年3月1日~2023年2月28日の年金経理収支予算)

| 収 入 | (単位:百万円) | 支 出 | (単位:百万円) |
|------------|----------|----------|----------|
| 掛金収入 | 1,026 | 老齢給付費 | 388 |
| 運用収益 | 41 | 脱退一時金 | 163 |
| 業務会計からの受入金 | 20 | 遺族一時金 | 16 |
| | | 業務委託費等 | 37 |
| | | 責任準備金増加額 | 481 |
| | | 当年度剰余金 | 2 |
| 合 計 | 1,087 | 合 計 | 1,087 |

2022年度末には、約20億円の別途積立金を計上できる見込みです。
積立金の運用は、リスクのない一般勘定(元本保証)で運用しております。

新規加入を随時受付しています 年金制度の6つの特色

1. 一時金の受給ができ、退職金の事前準備も活用できます。
2. 税の優遇措置が受けられます。
3. 賃確法に定める退職手当の保全措置が免除されます。
4. 積立金の運用は、リスクゼロの運用を行っています。
5. 現役世代の人口減少の影響を受けません。(事前積立方式)
6. 長寿化の影響を受けません。(年金は有期年金を受給)

ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

「中小企業基盤整備機構」からのお知らせ

「モール活用型ECマーケティング支援事業」のご案内

中小企業基盤整備機構は「モール活用型ECマーケティング支援事業」出品者を募集している。

本事業は、新たに国内外に向けて販路開拓を意欲的に進めていく中小企業者を公募により選定し、ECモール出店による販売機会の提供及びマーケティング支援を通して、その後の自立化を支援するものとなっている。

中小機構がモール月額使用料、アフェリエイト原資、商品ページ制作費用、商品紹介文の翻訳（越境の場合）、その他運営費用全般を負担する制度。

詳しい応募方法は「モール活用型ECマーケティング支援事業」[「https://ecmall.smrj.go.jp/」](https://ecmall.smrj.go.jp/) から検索ください。

ECモール活用型マーケティング支援事業

出品料無料

国内出品モール（3モールまで） 越境出品モール（いずれか1モール）

Rakuten Yahoo! JAPAN Amazon eBay Shopee

7月9日(土)19時までの出品登録が期限内に完了した出品者（引続き10月中旬より国内モールに18分が出品を特約しております。今後越境モールに72分が出品が決定します）

少ない費用で出品が可能！

決定は、日本内による国内出品となります。また、国内向けに出品を希望していただければ、購入者（お客様）への説明等は事務局と協定の事務手が行います。

越境モールにも安心して出品

越境モールにより売上金に付いた手数料が異なります。また、国内向けに出品を希望していただければ、購入者（お客様）への説明等は事務局と協定の事務手が行います。

先売のサポート体制！

出品には登録料がかかりますが、出品登録費とモール料との両方が不要です。また、登録料、購入者手数料より先払いと商品、出品後から出品のサポート業務はすべて事務局が行います。また、お申し込みの申し込みセンターにて無料でご参加いただけるほか、専門家によるオンライン個別相談などの支援メニューもご用意しています。

詳しい応募方法はこちら <https://ecmall.smrj.go.jp/>

2ステップの簡単な手続き！

商品情報を登録し、注文が入ったら自動的に発送していただくだけ！

出品登録

国内モール：先売額1万円以上15日（月）～先売額4万円以上30日（月）

越境モール：先売額1万円以上15日（月）～先売額4万円以上30日（月）

出品期間

国内モール：3か月間 越境モール：6か月間

お問い合わせ

メール活用型ECマーケティング支援事業事務局

E-mail: ecmall@ecmall.smrj.go.jp
TEL: 03-5466-0144

※「モール活用型ECマーケティング支援事業」の概要

| 対象 | 出店モール | 出品期間 | 応募期間 |
|---------|---|------|-----------|
| 国内ECモール | 楽天市場、Yahoo!ショッピング、47CLUBの3モールに同時出店 | 3か月間 | 令和4年7月29日 |
| 越境ECモール | (アメリカ)Amazon、eBay、(シンガポール)Shopeeのいずれか1に出店 | 6か月間 | 令和4年1月31日 |

商団連「販路開拓事業」の実施

商団連は、傘下の会員組合の販売促進の一助として、会員ネットワークを活用して会員相互の商品販売促進をサポートする事業を令和2年度より実施している（今回3回目）。

この事業は、販路を開拓したい会員組合から商品広告の申込を受け付け、会員組合に商品広告を配布する事業となっている。今回は9月に販路開拓事業の申込の受け付けを開始し、3組合から5商品の申込があり、11月に会員組合に商品広告を配布実施した。次回は5月頃商品広告の申込を受け付ける予定。

左から会津若松卸商団地(協)のウィスキー・日本酒・郷土食、(協)青森総合卸センターのりんご、沖縄県卸商業団地(協)のみずく。

福島のウィスキー

会津郷土食セット

金津娘

AOMORI RINGO 2021

おきなあの定番

左から会津若松卸商団地(協)のウィスキー・日本酒・郷土食、(協)青森総合卸センターのりんご、沖縄県卸商業団地(協)のみずく。

寅年はこんな年(豆知識) 2022年の干支は「壬寅(みずのえとら)」

| | |
|--------------|---|
| 1950年(昭和25年) | 中国人民解放軍がチベットに侵攻、朝鮮戦争勃発 |
| 1962年(昭和37年) | 海上封鎖撤回によりキューバ危機終了、リアアモーターカーの研究が始まる |
| 1974年(昭和49年) | 日本赤軍が蘭ハグ仏大使館占拠、セブンイレブン日本第1号店開店 |
| 1986年(昭和61年) | スペースシャトルの爆発事故、バブル景気の始まり、円高・半導体不況、男女雇用機会均等法が施行 |
| 1998年(平成10年) | 長野オリンピック開幕、明石海峡大橋が開通、長銀・日債銀が破綻、Windows98発売 |
| 2010年(平成22年) | 尖閣諸島中国漁船衝突事件、GDPで中国に抜かれ世界3位に、日銀が市場介入しゼロ金利が復活 |

「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味がある。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージのこと。

(編集後記) 先日セミナーに出席した際、「コロナ発生により、私達は近未来を見ている。本来であって10年掛けて変わる世界が急に進んだ」という話を聞きました。私もその通りと思います。2年前にはZoomなど使えませんでした。DX化と気候変動対応は特に進んだと思います。商団連も感度を高くし、会員の皆様にタイムリーな情報提供をしていきたいと考えています。(原田)